

社会科学習指導案（地理的分野）

～世界の国々の調査（アメリカ合衆国・第3時）～

期 日 平成16年6月11日（金）5校時
学 級 2年8組38名（男子20名，女子18名）
指 導 者 教 諭 福 雅 彰

1 単元名 「アメリカ合衆国について調べよう」

2 本単元の特徴

「世界の国々」の学習では，学習対象を生徒が直接体験できない特徴を有しているため，この単元では地理的なおもしろさを間接的ではあるが，いかに実感させるかが重要になってくる。そこで，インターネットや資料集，アメリカ製品などできるだけ生徒が身近に感じられるような具体物を提示したり，体験的・作業的な学習を設定したりして生徒の興味・関心を高めていきたい。

また，本単元では，初めて世界の国について調べる学習となるため，生徒にとって身近でよく話題に上るアメリカ合衆国を取り上げている。特に，知っているようで意外に知らない部分を，具体的に事実やデータなどから明らかにすることによって，発見や驚きを伴いながら課題意識や追求意欲を高めることができるように構成している。

第1時間目にアメリカ合衆国の概要を把握し，生活，農業，工業の3つの内容に関わる学習課題を設定し，その後4時間を課題追求の時間とし，最後の6時間目でまとめるといった，課題解決型の構成をしている。

なお，この学習スタイルを身につけることによって，この後の世界の国々の学習が，生徒自身の力でも追求できるようになることが期待できる。

3 生徒の実態

4月に行われた学力検査において，社会科は全国通過率，学年平均を下回る成績であり，特に地理的分野には歴史的分野に対して低いという結果が表れている。各領域の状況を見ても，「世界と日本の地域構成」の領域は低い結果となっており，地理的分野に苦手意識を持っていると思われる。

「アメリカ合衆国」に関しては，「大都市である」「にぎやか」「アメリカンドリーム」といった華やかなイメージを持っている生徒がいる反面「戦争をする国」「銃社会」「事件が多い」といった悪いイメージを持った生徒もいる。地名やアメリカ出身の有名人，アメリカの企業といった質問に対しては，回答できない生徒が多数見られた。

本学級の生徒は，発言が少なく授業も「受け身」の姿勢で臨む生徒が多い。交友関係にしても表面的な会話しか交わせない状況がありまだまだ学級の仲間作りが軌道に乗っていないような状況である。

4 単元目標

各種の資料を活用して，アメリカ合衆国の人々の生活や農業，工業の特色について課題意識を持ちながら進んで調べ，世界や秘本との関わりや比較を通してその特色を考え明らかにするとともに，イメージマップを作成することによってアメリカ合衆国の特色についての理解を確かにする。

5 単元の考察

アメリカ合衆国については、野球や陸上競技などのスポーツ、映画や音楽などの芸術・文化、ファーストフードをはじめとした食文化の他、テロ事件のニュースやイラク戦争のニュースなど生徒の日常的な生活の中でも身近で親近感のある国である。この単元では、そのような身近な内容を取り上げながら、改めてアメリカ合衆国について興味・関心を高めながら理解を深めるとともに、日常的な生活の中でアメリカ合衆国との関わりをとらえさせ、世界の国々との関わりで日本をとらえるような、広い視野を身につけることを期待したい。

6 単元の指導計画

時間	主な学習内容	学習目標・評価の観点	教師の支援・留意点など
1	大きな国土と多様な自然 ・地域によって異なる自然	自然環境がどのようにいかされて、どのような生活が営まれているのかを理解する。(知識・理解) 気候区分図、土地利用図、人口分布図などを重ね合わせて関係を読み取っていくことができるようにする。(技能・表現)	気候、地形などの自然条件と人々の暮らしを直結して説明することの内容留意して指導する。 日本とは大きく違った地形や、気候の様子を具体的に認識できるようにする。
2	様々な民族と文化 ・多様な民族が暮らすアメリカ ・移民とアメリカ社会 ・世界に広がるアメリカ文化	アメリカが多民族国家であり、文化、社会のしくみ、経済的などにわたって、その特色が多彩にできていることを理解する。(知識・理解) 人種や民族の違いが、人々の暮らしにどのような影響を与えているのかについて、日本と比較しながら考えることができる。(思考・判断)	人種や民族の違いの学習が、差別や偏見を生じさせることのない様に配慮する。 アメリカ大陸の先住民にも関心を持ち、その歴史に対する理解を進展させる。
3 (本 時)	世界に及ぼす産業(1) ・世界の食糧基地	インターネットやその他の資料を使ってアメリカに関する情報を獲得することができる。(技能・表現) 世界各国や日本との比較や世界の中での割合などから、農業規模に驚きを持ちながら学習に参加できる。(関心・意欲・態度) アメリカの企業的農業が世界各国の農業に影響を与えていることを理解する。(思考・判断)	アメリカ企業の海外進出の現状を、生徒の日常生活と結びつけて実感させるように指導する。 世界に影響力を持つアメリカ合衆国の農業の特徴を知り、驚きを持ちながら理解を深める。
4	世界に及ぼす産業(2) ・豊かな資源と進んだ工業 ・世界を支える産業	アメリカの最先端の工業生産が、貿易や援助活動を通して、世界各国の工業に影響を与えていることを理解する。(思考・判断)	貿易に関する様々な資料、たとえば、国内生産量と貿易量、貿易摩擦問題、貿易とアメリカ国内の生産者の関係、貿易

	アメリカの貿易の学習を通して、世界の貿易の様々な状況に関心を持つようにする。(関心・意欲・態度)	を巡る日本との関係などに関する資料を収集させ、貿易に関する視点を持たせるように指導する。
--	--	--

時間	主な学習内容	学習目標・評価の観点	教師の支援・留意点など
5	世界の大国アメリカ合衆国 ・英語とドル ・政治力と軍事力	英語の国際語化，基軸通貨としてのドル，軍事力などの視点から，アメリカが世界をリードしている大国であることを理解する。(知識・理解) インターネットを使って，アメリカに関する情報を獲得することができる。(技能・表現)	生徒の体験的知識と結びつけて，アメリカの支配的な力を認識させるように配慮する。 新聞記事などを分析して，世界の政治，経済，軍事において，アメリカがいかに巨大な力を持っているのかについて，具体例を通して理解させる。
6	補充・深化	イメージマップを作成することによって，社会科における基礎的・基本的な内容のより確実な定着を図るとともに，地理的なものの見方考え方を育てることができる。	

7 本時の実際

(1) 本時の特徴

本時は，アメリカ合衆国の農業の様子について，様々な角度から情報を集め，それらを分析しながら，その特色をとらえようとする場面である。

特に，生産量の大きさや世界に占める割合も含め，日本と比較してその規模の大きさに注目しながら驚きや発見を大切にし，アメリカ合衆国の農業の特色を理解できるように構成している。

(2) 目標

各種の資料から，アメリカ合衆国の農業の様子について調べ，その規模の大きさや特色などについて明らかにすることができる。

(3) 展開

段階	時間	主な学習活動と生徒の学ぶ姿	教師の支援・評価の観点など
導入	8分	うどんや納豆など，日本人の好む食べ物の原料が，実はアメリカ合衆国で生産された小麦や大豆で作られている可能性が高いことから，アメリカ合衆国の農業生産について興味・関心	うどんや納豆，小麦粉や大豆などの実物を用意することで，いっそう興味関心を高める。 先日の給食を想起させるなどして身近

		<p>を高める。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小麦粉はアメリカ合衆国産である。 ・大豆もアメリカ合衆国産だ。 <p>学習課題 アメリカ合衆国の農業はすごいのかな</p>	<p>に感じさせる。</p>
展開	20分	<p>インターネットなどの資料から，アメリカ合衆国の畑の広大さや，大規模な生産形態を調べ，日本と比較して気付いたことを発表する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・耕地面積が日本の30倍以上もある。 ・機械化で大規模に生産している。 ・日本とはスケールが違う ・コストが安く，大量に生産している。 	<p>インターネットの資料を活用したり，教科書や資料集などをもとに調べていくようにするが，資料を読み取る前に予想を発表させ，読み取る意欲を高めることで，資料活用能力を高めていく。</p>

段階	時間	主な学習活動と生徒の学ぶ姿	教師の支援・評価の観点など
展開	12分	<p>世界の中に占める輸出量の割合から，世界の農業や食料生産に大きな影響を持っていることを，教科書や資料集から読み取り，発表しあう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大豆や小麦，トウモロコシなど，気候にあわせて大規模に耕地が広がっている。 ・世界の輸出量の中でも大きな割合を占めている ・影響力は大きい 	<p>を，読み取りながら，わかったことを確認し，理解を確実にする。そのことから影響力の大きさを導き出す。</p>
終末	10分	<p>アメリカ合衆国の農業生産の様子や特色についてわかったことや感想を白地図のついたワークシートにまとめる。</p>	<p>白地図部分に穀物分布図のコピーを貼ったり，説明を加えたりして，アメリカ合衆国の農業生産について自分なりの表現でまとめる。</p>

(4) 評価の規準と方法

- 関心・意欲・態度・・・アメリカ合衆国の農業の規模の大きさに関心を持ちながら，その特色を各種資料から積極的に読み取ろうとする。(行動観察・ワークシート)
- 思考・判断・・・アメリカ合衆国の農業規模の大きさを支援環境や地理的な条件と関連づけてとらえることができる。(ワークシート・発言)
- 技能・表現・・・アメリカ合衆国の農業の特色を，白地図にまとめ，説明することができる。(ワークシート・発言)
- 知識・理解・・・アメリカ合衆国の農業の規模の大きさや栽培地域の分布，輸出量などについて理解することができる。(ワークシート・発言)

(5) 参考にしたデジタルコンテンツ

- ・「世界は今」(<http://ne.eizou-kyouzai.jp>)

単元のイメージマップ

